

# 漁海況月報

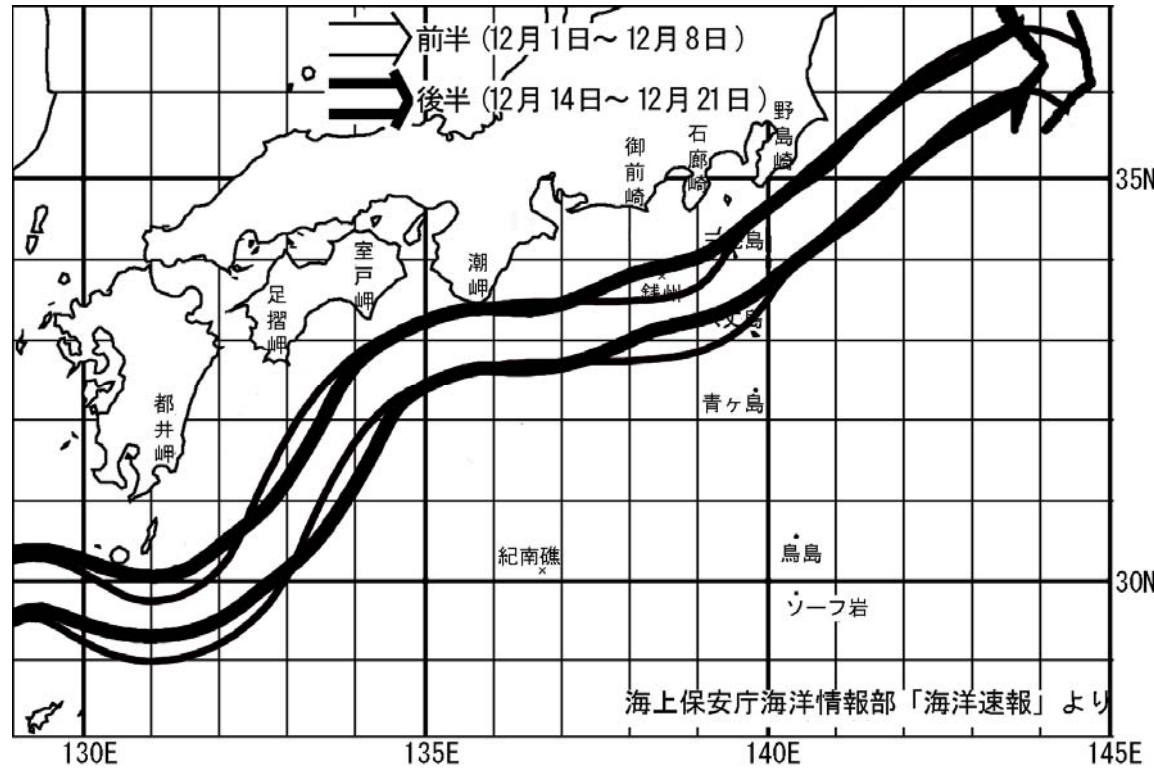
No. 12

平成23年12月1日

～12月31日

静岡県水産技術研究所  
(電話 054-627-1815)

静岡県水産技術研究所 伊豆分場  
(電話 0558-22-0835)



定地水温の旬平均値 (°C) (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上旬	18.3	18.7	18.8	19.9	18.3	18.9	15.7
	0.9	0.8	1.5	1.9	0.7	2.0	0.0
中旬	17.1	18.2	17.9	17.6	16.7	18.4	14.8
	0.5	1.0	1.5	0.7	0.1	2.3	0.2
下旬	16.1	17.0	16.8	16.8	16.7	18.1	13.9
	0.4	0.7	1.1	0.9	1.0	3.2	0.2
月	17.1	17.9	18.0	18.1	17.2	18.4	14.8
	0.6	0.8	1.5	1.2	0.6	2.5	0.1

## 【黒潮流路】

前半の黒潮は、室戸岬～潮岬で接岸した後、遠州灘沖を東に進み、八丈島と三宅島の間を通過して房総半島沖へ流去した。後半の黒潮は、室戸岬～潮岬で接岸した後、遠州灘沖で前半よりも接岸し、三宅島付近を通過して房総半島沖へ流去した。黒潮は接岸傾向で推移したため、上旬と下旬に沿岸域に暖水波及が見られた。

## 【県下沿岸域】

県下の定地水温は、暖水波及の影響を受けて、地頭方以外は16～19℃台の平年並み～きわめて高めで推移した。特に、焼津は前月に引き続き高めで推移し、下旬には平年比+3.2度のきわめて高めの水温となった。

## 【竿釣近海カツオ】

県内主要5港（沼津、清水、焼津、小川、御前崎）における近海カツオの水揚量はなかった。

竿釣（近海船+沿岸船）カツオ水揚量（県内主要5港）

期間	水揚量 (トン)	水揚隻数	水揚/隻 (トン)	平均単価 (円/kg)
23年 12月計	0	0	—	—
22年 12月計	5	3	1.7	212
21年 12月計	7	10	0.7	751

## 【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統（伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津）の水揚量は638トンで、前年の同漁場の水揚量（731トン）の87%となった。また、1か統あたりの水揚量は91.1トンで前年（104.4トン）及び平年（昭和57～平成22年の平均41.2トン）のそれぞれ0.9倍、2.2倍となった。

魚種別の漁獲量をみるとサバ類、カタクチイワシ、スルメイカの順に多かった。

サバ類は尾叉長で30～35cmのゴマサバを主体に12月20～23日の4日間で本月の漁獲量の1/2を超える集中的な漁獲があり、また、カタクチイワシでもサバ類と同様に12月11日だけで本月の漁獲量の1/2を超える120トンの漁獲が短期間でみられたことが特徴であった。スルメイカは外套長で25～30cmの大きさのものが前年及び平年のそれぞれ約2倍、6倍となる漁獲があり、ワラサ（体重6Kg程度）でも前月同様、前年及び平年を上回る好漁が継続した。

漁場別の漁獲量では、北川漁場が174トン（サバ類、スルメイカ、カタクチイワシなど）、古網漁場が165トン（カタクチイワシ、サバ類、マルソウダなど）、富戸漁場が116トン（サバ類、スルメイカ、カタクチイワシなど）の順に多かった。

魚種	漁獲量 (トン)	前年比	平年比	主な漁場
サバ類	251.1	0.5	3.6	北川、富戸、川奈
カタクチイワシ	149.3	14.3	6.5	古網、北川、富戸
スルメイカ	140.1	1.9	5.8	北川、富戸、川奈
ワラサ	13.6	25.8	10.5	谷津、川奈、北川
マルソウダ	12.9	1.5	1.6	古網、北川、富戸

**[サバたもすくい・棒受網]**

小川港には、たもすくい・棒受網によってゴマサバ 605 トン（前年同月比 107%）が水揚げされ、1 隻あたり水揚量は 37.8 トン/隻（前年同月比 114%）であった。ゴマサバの平均単価は 48 円/kg と前月（53 円）を下回ったが、前年同月（39 円）を上回った。

棒受網の漁場は、月を通じ三本、三宅に形成された。

ゴマサバの尾叉長モードは 30cm ついで 26cm に見られ、前者は 2 歳魚（2009 年級群）主体、後者は 1 歳魚（2010 年級群）、0 歳魚（2011 年級群）主体であった。また、10 月中旬来みられた 18～21cm モードのモロの混獲は、12 月中旬以降わずかになった。たもすくいも利島等を漁場に、ゴマサバ主体の漁獲であった模様。

小川港 サバ類（たもすくい・棒受網漁業）水揚量

期 間	水揚量(トン)		水揚 日数	水揚 隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
23 年 12 月上旬	0	244	3	7	0.0	34.8	—	47	三本, 三宅
中旬	0	174	2	4	0.0	43.5	—	51	三宅
下旬	0	187	2	5	0.0	37.4	134	47	利島, 三本
23 年 12 月計	0	605	7	16	0.0	37.8	134	48	—
22 年 12 月	0	564	7	17	0.0	33.2	—	39	三本, 三宅
21 年 12 月	0	284	5	10	0.0	28.4	—	37	三本

\*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

\*マサバは下旬に 32kg の水揚があったので、単価のみ記載。

**[サクラエビ船曳網]**

出漁日数は 7 日で、漁獲量は 194 トン、漁場は主に三保～安倍川沖と榛原沖に形成された。漁獲されたサクラエビは、体長 34mm にモードを持つ当歳エビと 40mm にモードを持つ 1 歳エビで、当歳エビが主体だった。

平成 23 年秋漁は 12 月 21 日が最終出漁日となり、出漁日数は 13 日（前年秋漁は 10 日）、漁獲量は 358 トン（同 303 トン）であった。

サクラエビ水揚量

期 間	水揚量 (トン)	日数	1 日 1 か統当り 平均漁獲量(kg)	漁 場
平成 23 年 12 月 上旬	51	2	425	大井川～榛原沖
中旬	119	4	496	三保～安倍川沖
下旬	24	1	400	三保～安倍川沖・榛原沖
平成 23 年 12 月 計	194	7	462	三保～安倍川沖・榛原沖
平成 22 年 12 月 計	225	6	623	大谷下～榛原沖
平成 21 年 12 月 計	322	6	894	大井川～相良沖

**[シラス船曳網]**

1 日 1 か統当りの水揚量は、駿河湾が 81kg、遠州灘が 193kg であった。主要 6 港平均の 1 日 1 か統当りの水揚量は 129kg と前年同期(267kg)の 48%、平年同期（過去 5 か年平均：127kg）の 102% と前年を下回り、平年並みであった。また、総水揚量は 85.5 トンで前年同期(219.6 トン)の 39%、平年同期（99.5 トン）の 86% と前年、平年を下回った。平均単価は 856 円/kg と平年同期（978 円/kg）を下回った。

シラス水揚量（主要 6 港）

漁 港	水揚量 (トン)	延日数	延統数	平均漁獲量 (kg/統)	平均単価 (円/kg)
新 居	3.3	5	46	72	749
舞 阪	22.3	5	112	199	741
福 田	20.7	5	86	241	743
御前崎	8.7	5	41	212	609
吉 田	19.1	11	218	88	805
静 岡	11.4	8	159	72	1,586
平成 23 年 12 月計	85.5		662	129	856
平成 22 年 12 月計	219.6		823	267	624
平成 21 年 12 月計	104.9		814	129	882

**[まき網]**

小川港ではマイワシが 0.1 トンの水揚げで平年同期（8.5 トン）の 0.8% であった。沼津港では、マイワシの水揚げはなかった（平年同期 20.8 トン）。静浦港では、マイワシの水揚げはなく（平年同期もなし）、カタクチイワシの水揚げもなかった（平年同期もなし）。伊東港ではマイワシが 238.2 トンの水揚げで、平年同期（121.0 トン）の 2.0 倍であった。

注）平年同期：過去 5 か年(2005～2010 年)平均

**[調査船の動向]**

駿 河 丸

12 月 5 日	地先定線観測調査	(1 日間)
12 月 7 日 ～ 12 月 8 日	地先定線観測調査	(2 日間)
12 月 12 日 ～ 12 月 13 日	サバ標識放流調査	(2 日間)
12 月 19 日	公共用水域水質調査	(1 日間)
12 月 20 日 ～ 12 月 21 日	サクラエビ IKMT・タチウオ調査	(2 日間)

**静岡県水産技術研究所のホームページ**

パソコンからは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星 NOAA の海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

